

ひまわり在宅ケアステーション 佐々木 恵子

功 績	嘱託になっても常勤同様の稼働・訪問しながら他の職員のフォローや手の届かない内勤業務を率先して行った事で、働きやすい環境づくりをしてきた功績
推 薦 者	佐藤俊之
推 薦 理 由	常に向上心を持ち、前向きで新しいこと、苦手な事も嫌がらずに取り組む姿勢、率先して与えられた業務だけでなくそれ以上に皆が働きやすい環境づくりをしてきた佐々木恵子さんを理事長賞候補として推薦します。

内 容

今回の理事長賞候補である佐々木恵子さんは勤続年数15年、ベテランの訪問介護員です。60歳を超えた事により嘱託に勤務変更となりました。しかし、訪問の件数は常勤と同様で月平均120件から140件、勤務時間も常勤と同様です。また、1日のスケジュールの中で訪問のキャンセルや少しの時間でも空いた時間には事務所に戻り、滞っている書類の整理や翌日の行程確認を率先して行ってくださいました。その為、サービス提供者はサ責業務を行う時間が増え、常勤職員も訪問に専念できるようになりました。また、長年の経験を活かし、若い職員、新人職員への教育や指導も今までの経験を活かしながら行ってくれます。訪問介護に関しても利用者さんへ寄り添う姿勢は入社当初と変わらず、常に相手の立場に沿ってその時のニーズや課題をしっかりと把握し、サービス提供責任者やケアマネージャーに報告し、増回の提案も積極的に行ってくれます。加えて利用者さんからの苦情やクレームも発生することはなく、在宅ケアのお手本といっても過言ではありません。

昨年よりひまわり在宅サポートグループでは、ラインワークスや行程管理sakusaku、MOTPhoneや勤怠管理のジンジャーなどICTを次々に導入してきました。佐々木恵子さんはICTを苦手とする世代であり、最初は導入する事を不安に感じていた様子ですが、人一倍の努力で今導入しているICTは確実に使いこなせるようになりました。その結果、周りの職員から認められ、ICTの社内アンバサダーとして任命され、同世代の年配ヘルパーへのICTに関わる教育に携わるようになりました。また、プライベートでは体力づくりとして山登りをしており、これまで体調不良による欠勤は1度もありません。最近では定期的に公休を入れ自己管理・体調管理し公私ともに充実しており、口癖が「70歳になっても働きます!」と言っております。

他の職員が業務をスムーズに行えるようになったこと、サービス提供責任者がサ責業務を確実にこなせるようになった事は佐々木恵子さんが日々の訪問行程をしっかりとこなし、人一倍の努力で自らの役割を超え、率先して手間のかかる内勤業務をおこなう事で周りが安心して働けるようになったからこそであると考え、理事長賞に推薦いたします。